



## 稲田 防衛大臣来沖



○左部写真:平和祈念公園を訪問(9月23日) ○中央写真:翁長知事との会談(9月24日) ○右部写真:在日米軍副司令官との面談(9月24日)

### 目次

### CONTENTS

稲田防衛大臣の沖縄訪問・・・・・・・・・ 2  
 若宮防衛副大臣の宮古島市訪問・・・・・・ 3  
 沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画  
 の進捗について・・・・・・・・・ 4  
 幹部職員の紹介・・・・・・・・・ 5  
 第3回久辺三区の振興に関する懇談会の開催・・・ 6  
 再編関連特別地域支援事業の実施について・・・ 6  
 名護防衛事務所の移転について・・・・・・・・・ 7

平成28年版防衛白書の刊行及び地方公共団体への説明・ 8  
 平成28年度沖縄県総合防災訓練・・・・・・ 8  
 平成29年度概算要求における沖縄関係経費・・・ 9  
 入札・契約制度説明会の実施・・・・・・ 10  
 在沖米海兵隊員に対する浦添警察署長感謝状の贈呈・ 10  
 体験子どもフェスティバル・・・・・・ 11  
 キャンプ・ハンセンフェスティバル開催・・・ 11  
 キャンプ・シュワブ所属隊員等と辺野古区との交流・ 12

## 稲田防衛大臣の沖縄訪問

稲田防衛大臣は、9月23日から24日の日程で、大臣就任後初めて沖縄を訪れました。

23日は平和祈念公園において戦没者墓苑に献花し、平和の礎等を訪れた後、那覇市内において、米軍施設が所在する中部の市町村長と意見交換を行いました。

翌24日には、自衛隊那覇基地からCH-47Jヘリコプターに搭乗し、北部訓練場やキャンプ・シュワブを上空から視察した後、名護市内において米軍施設が所在する北部の市町村長等と意見交換を行いました。その後、沖縄県庁において翁長沖縄県知事と会談を行い、自衛隊那覇基地を視察しました。



中部基地所在市町村との意見交換



北部基地所在市町村との意見交換



自衛隊那覇基地



CH-47Jヘリコプターからの上空視察



翁長知事との会談後、記者団の質問に応じる稲田大臣

## 若宮防衛副大臣の宮古島市訪問について

平成28年9月2日、若宮防衛副大臣は宮古島市を訪問し、下地宮古島市長と面談しました。若宮副大臣から下地宮古島市長に対して、本年6月の宮古島市議会における、宮古島への陸上自衛隊の部隊配置を了解する旨の表明に改めて感謝申し上げるとともに、部隊の配置先である千代田カントリークラブの施設配置案を提示し説明を行いました。

防衛省としては、南西地域の安全保障環境が厳しさを増している中、南西地域の防衛態勢の強化は重要な課題であり、宮古島への陸上自衛隊部隊の配置のための取組を着実に進めていきたいと考えています。

宮古島への陸上自衛隊部隊の配置に当たっては、地元住民の方々からのご理解・ご協力を頂けるよう、宮古島市ともよく相談しながら、引き続き丁寧な説明に努めてまいります。



下地宮古島市長との面談の様子

## 「千代田カントリークラブ」における施設配置案



- 「千代田カントリークラブ」に開設予定の駐屯地には、以下の部隊を配置する予定
  - ・ 災害含む各種事態が生起した際に、迅速に初動対応を行う警備部隊
  - ・ 島嶼部に対する侵攻を可能な限り洋上において阻止し得る地对艦誘導弾部隊
  - ・ 地对艦誘導弾部隊と連携し、重要地域の防空を有効に行い得る地对空誘導弾部隊
- 隊員規模は約700から800名

## 沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画の進捗について

平成25年4月5日に公表された「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、嘉手納弾薬庫地区(知花地区)には、①キャンプ瑞慶覧のインダストリアル・コリドー地区に所在するスクールバスサービス関連施設、②牧港補給地区の倉庫、工場等が移設されることとされています。



## 嘉手納弾薬庫地区（知花地区）への移設に係る沖縄市長の受入表明



若宮副大臣(左)と桑江沖縄市長(右から2人目)の会談

その際、河川氾濫対策などの諸問題への対応について、今後の協議会で迅速な解決が図られるよう要請がありました。

当局としては、今後とも統合計画を着実に実施し、引き続き、沖縄市民をはじめとする沖縄県民の皆様のご理解を得ながら、沖縄県の負担軽減に精力的に取り組んでまいります。

8月19日、「嘉手納弾薬庫地区(知花地区)への移設に関する協議会」を設置・開催し、移設に伴う様々な課題を含め、沖縄市が抱える基地から派生する諸課題の解決や同市の振興に資する事案について、防衛本省、沖縄防衛局と沖縄市の三者で、取り組んでいくことを確認しました。

また、同日に行われた若宮副大臣と桑江沖縄市長との会談の際、副大臣から、嘉手納弾薬庫地区(知花地区)への移設について、改めて理解と協力を要請しました。

市長からは、協議会の設置により、沖縄市の課題解決や地域振興が着実に進められることが確認できたとして、嘉手納弾薬庫地区(知花地区)への移設について受け入れの表明をいただきました。

## 幹部職員の紹介

平成28年7月1日付けで、中嶋局長、高木次長、伊藤企画部長及び本多管理部長が、同年8月1日付けで森部防衛補佐官が着任しましたので、ご挨拶いたします。

局 長

なかじま こういちろう

中嶋 浩一郎



7月1日付けで沖縄防衛局長に着任しました中嶋です。沖縄においては、様々な困難な課題や懸案がございます。沖縄の皆様のご意見、ご要望、お気持ちをお聞きし、しっかりと受け止めながら、沖縄防衛局長の職責を果たしてまいります。

次 長

たかぎ けんじ

高木 健司



7月1日付けで沖縄防衛局次長に着任しました高木です。今回、2年ぶり3度目の沖縄勤務となりました。局次長という立場で沖縄に赴任し様々な課題の解決のため、前回の経験も生かしつつ、地元沖縄の皆様方のご意見に真摯に耳を傾けて仕事に取り組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

企画部長

いとう しんや

伊藤 晋哉



7月1日付けで沖縄防衛局企画部長を拝命した伊藤です。沖縄においては、普天間飛行場の移設問題や嘉手納以南の土地の返還など、様々な課題がありますが、沖縄に集中する基地負担のより一層の軽減に職員とともに精一杯努めていきたいと思っております。

管理部長

ほんだ ひろみつ

本多 宏光



7月1日付けで沖縄防衛局管理部長を拝命した本多です。沖縄勤務は初めてになりますが、管理部長として施設・区域の安定的な使用の確保とあわせて、返還後の支障除去を着実に進め、跡地利用を通じた沖縄全体の発展に寄与できるよう全力で取り組んでいきたいと思っております。

防衛補佐官

もりべ たつじ

森部 樹司



8月1日付けで沖縄防衛局防衛補佐官を拝命した1等空佐の森部です。防衛局での勤務は全く初めての経験となりますが、これまでの経験を少しでも活用し、沖縄県内における防衛行政の拠点たる当局の一員として、その役割をはたせるよう取り組んでまいりたいと思っております。

## 「第 3 回久辺三区の振興に関する懇談会」の開催について

7月23日、沖縄防衛局において、久辺三区長(辺野古区、豊原区及び久志区の三区長)と、沖縄防衛局長、沖縄総合事務局長が出席し、「第3回久辺三区の振興に関する懇談会」を開催しました。



「第3回久辺三区の振興に関する懇談会」の様子

### 「第3回久辺三区の振興に関する懇談会」の概要

今回の懇談会では、「政府の取り組み状況について」及び「久辺三区長からの要望について」を議題としました。

久辺三区の各区長からは直接補助について、国の取り組みに対する評価を頂くとともに、平成29年度事業として、辺野古区から「区民集会施設整備の継続と区民が安心して生活するための事業として、ソーラー防犯灯の設置」、豊原区からは「区民広場の早期工事完成」、久志区からは「区民交流施設整備の継続と防災物品等の購入」の要望をそれぞれ頂きました。

また、平成28年度の久辺三区コミュニティ事業基金の活用として、辺野古区は引き続きソフト事業への活用、豊原区は車庫整備など、久志区は区体育館の改修などを検討している旨の報告がありました。

沖縄防衛局長からは、平成27年度及び平成28年度「再編関連特別地域支援事業」について進捗状況等の説明、また、各区からの平成29年度要望について、引き続き各区と事業内容の調整を行う旨の説明がありました。

また、名護防衛事務所の移転についても報告を行いました。

沖縄総合事務局長から、生活排水処理のための下水道整備について、農業集落排水事業を活用することにより、10年以上前倒す方向で市が検討を進めており、引き続き名護市に対し、必要な助言等を行っていくこと、県道13号について、平成28年度から測量と実施設計が実施されていること、更に久辺三区の農業振興への取組について報告がなされました。

### 再編関連特別地域支援事業の実施について

沖縄防衛局は、普天間飛行場代替施設建設事業を進めていく上で、直接最も大きな影響を受けることとなる久辺三区に対し、生活環境の保全や生活の向上を図るため、よりきめ細かな施策が必要との認識の下、三区からのご要望を踏まえ、平成27年度から補助事業を進めてきました。これまで三区が当局の補助を受けて実施してきた、あるいは実施している事業を紹介します。

#### ○辺野古区の事業紹介

平成27年度において、住民の生活の安全に関する事業として、防災備蓄倉庫の建設を進めており、本年10月に完成(右写真)しました。平成28年度においては、その他生活環境の整備に関する事業として、区民集会施設の整備を進めており、本年10月下旬の実設計画完了後、状況を見つつ工事に着手する予定です。



### ○豊原区の事業紹介

平成27年度において、その他生活環境の整備に関する事業として、ダンプ型軽トラックや乗用芝刈機等の購入、無線放送設備の設置、住民の生活の安全に関する事業として、防犯カメラの設置を実施しました。平成28年度においては、その他生活環境の整備に関する事業として、区民広場の整備を進めており、来年1月中旬には実施設計を完了する予定です。

### ○久志区の事業紹介

平成27年度において、その他生活環境の整備に関する事業として、東屋の建設を進めており、来年3月には完成する予定となっています。平成28年度においては、その他生活環境の整備に関する事業として、区民交流施設の整備を進めており、本年10月下旬の実施設計完了後、状況を見つつ工事に着手する予定です。



みやぎ ゆきお  
豊原区長 宮城 行雄

### ○豊原区長のコメント

豊原区におきましては、再編関連特別地域支援事業により購入させていただいたダンプ型軽トラックを区の行事の資材運搬や清掃作業等に効率的に活用させていただいております。また、無線放送設備が設置できたことにより、災害時における区民への緊急通報が可能となったことで、区民に安心していただいております。日常においても区民へのお知らせや連絡時に有効に活用しています。さらに、豊原公民館周辺に防犯カメラを設置していただき地域の防犯にも非常に役立っており、区民を代表して感謝申し上げます。今後とも、再編関連特別地域支援事業を効果的に活用し、区民の生活環境の保全や生活の向上を図っていきたくと考えています。

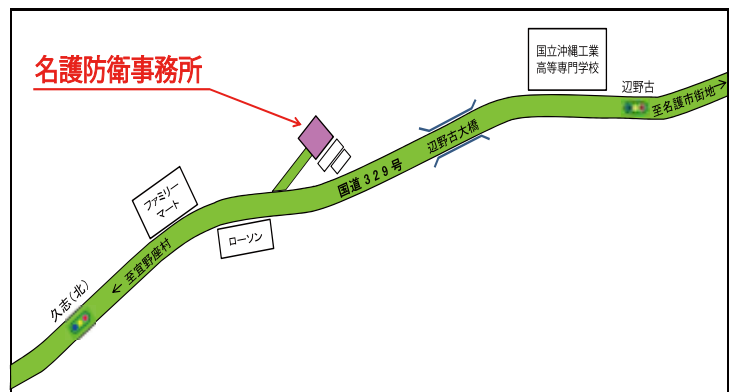
沖縄防衛局としては、今後とも、再編関連特別地域支援事業を通じ、久辺三区の生活環境の保全や生活の向上が図られるよう努めてまいりたいと考えています。

## 名護防衛事務所の移転について

7月25日、名護防衛事務所は下記の住所に移転しました。



名護防衛事務所新庁舎



案内図

新所在地：〒905-2171 沖縄県名護市字辺野古1007番地145  
電話番号：0980-50-0326(代表) FAX番号：0980-50-0327  
(電話番号及びFAX番号に変更はございません。)

## 平成 28 年版防衛白書の刊行及び地方自治体への説明

28年版防衛白書は、北朝鮮による核・弾道ミサイル開発の更なる進展や中国による積極的な海洋進出、国際テロ組織の活動の活発化・拡散といった我が国を取り巻く安全保障環境、防衛力整備や防衛力を支える人的基盤、平和安全法制の意義・概要といった我が国の安全保障・防衛政策と日米同盟強化の取組、各種事態への実効的な抑止及び対処、各国との安全保障協力の積極的な推進、防衛装備・技術に関する諸施策といった取組を中心に、より多くの方々に分かり易くお伝えできるようにコラムや図表を充実させて作成しました。

沖縄防衛局では、防衛省の各種施策について理解を深めていただく一助となるよう、沖縄県をはじめ県内すべての市町村を対象に防衛白書の内容について説明を行っています。

なお、防衛白書は、官報販売所等で販売されているほか、その内容は防衛省のホームページ(<http://www.mod.go.jp/>)にも掲載されていますので、是非ともご覧下さい。



平成28年版防衛白書(表紙)



当山嘉手納町長(左から3人目)に説明をする様子

## 平成 28 年度沖縄県総合防災訓練

9月3日、竹富町西表島の大原港を主会場として、沖縄県及び八重山3市町(竹富町、石垣市、与那国町)が主催する「平成28年度沖縄県総合防災訓練」が行われ、高木次長ほか関係職員が参加しました。

訓練には116団体が参加し、災害対策基本法、沖縄県地域防災計画及び市町村地域防災計画に基づき、八重山諸島南西沖を震源とする強い地震(竹富町:震度6強、石垣市・与那国町:震度6弱、宮古島地方:震度5弱)が発生したと想定し、津波発生、建物倒壊、火災、ライフライン被災などの災害発生時における自衛隊や他の防災関係機関の連携要領及び対応状況を確認しました。



装備品展示等を視察する高木次長



LCAC(エルキャック)による発動車両の輸送



## 平成29年度概算要求における沖縄関係経費

(単位:百万円、%)

事 項	平成28年度 予 算 額	平成29年度 概算要求額	対前年度 増▲減額	対前年度 伸 率
1. 基 地 周 辺 対 策 経 費	< 18,282 > 16,267	< 17,673 > 19,810	< ▲ 608 > 3,544	< ▲ 3.3 > 21.8
住 宅 防 音	< 4,749 > 4,750	< 5,085 > 5,114	< 336 > 364	< 7.1 > 7.7
周 辺 環 境 整 備	< 13,533 > 11,517	< 12,588 > 14,696	< ▲ 945 > 3,179	< ▲ 7.0 > 27.6
2. 補 償 経 費 等	< 102,764 > 102,838	< 102,932 > 102,885	< 167 > 47	< 0.2 > 0.0
(1) 施 設 の 借 料	100,515	100,612	97	0.1
土 地 等 の 借 料	99,023	99,844	821	0.8
そ の 他 (道 路 使 用 等)	1,492	768	▲ 724	▲ 48.5
(2) 漁 業 補 償	966	1,064	98	10.1
(3) そ の 他 の 補 償 等	< 1,283 > 1,357	< 1,256 > 1,209	< ▲ 27 > ▲ 148	< ▲ 2.1 > ▲ 10.9
3. 基 地 従 業 員 関 係	46,651	47,455	804	1.7
4. 提 供 施 設 の 整 備	< 8,523 > 5,901	< 7,404 > 7,939	< ▲ 1,119 > 2,038	< ▲ 13.1 > 34.5
5. 提 供 施 設 の 移 設	< 35 > 1,900	< 0 > 0	< ▲ 35 > ▲ 1,900	< ▲ 100.0 > ▲ 100.0
合 計	< 176,255 > 173,557	< 175,464 > 178,089	< ▲ 791 > 4,532	< ▲ 0.4 > 2.6

注：1 上段〈 〉内は、契約ベースです。

2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがあります。

## 入札・契約制度説明会の実施

7月5日、沖縄県電気管工事協会から要請を受け沖縄防衛局の建設工事に係る入札・契約制度説明会を開催し、当局から茂籠調達部長、総務部契約課及び調達部各課の担当が説明者とし、設備関係企業48社から75名と多くの企業に参加していただきました。

冒頭、茂籠調達部長からは、「沖縄防衛局が発注する建設工事の入札・契約方式は、原則一般競争入札であり、また、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式を導入しています。そのような中で、優良な地元企業の受注機会の拡大のための数々の施策も導入していますので、本日の説明会で当局の入札・契約制度に対する理解を深めて頂き、多くの企業の皆様が当局の入札に益々参加して頂けることを期待しています。」と挨拶しました。

続いて、当局における建設工事の入札・契約制度について、地元企業の皆様がより入札に参加しやすい環境の整備に係る以下の施策の改正について、説明を行いました。

当局では、総合評価落札方式の中でも参加される企業の皆様にとって手続きの負担が軽減される「施工能力評価型」を試行的に導入しています。この方式の改正について、①適用範囲が3億円以下から5億円以下まで拡大されたこと、②地域優良企業の活用に係る試行において従来は適用できなかった特定建設工事共同企業体(特定JV)での参加も可能となったこと、③沖縄県が発注した工事の施工成績についても評価の対象に含めること、などを説明しました。

これらの改正により、更に地元企業の皆様が入札に参加しやすい環境が整い、競争性を確保すると共に、技術力の向上にも期待ができ、受注機会の拡大にも繋がると考えています。

また、今年度の工事発注の見通しを説明し、電気設備及び機械設備の積算基準の解説を行いました。

当局としては、当局の入札・契約制度への理解が深まり、入札への参加の意欲を高めて頂いたものと考えます。今後とも関係団体等からのご要望がありましたら、出来るだけこのような機会を設け、説明をさせて頂きたいと考えています。

県内建設業の皆様には、これからも当局の工事の入札に積極的に参加して頂けますよう期待しております。



説明会の様子

## 在沖米海兵隊員に対する浦添警察署長感謝状の贈呈について



感謝状を贈呈される海兵隊員(写真提供:在日米海兵隊)

本年4月16日、浦添市牧港5丁目在国道58号で発生した車両火災を発見するや、迅速な対応で消火活動を実施し、被害の拡大防止に大きく貢献したことから、消火活動に従事した在沖米海兵隊員2人に対して、8月23日、浦添警察署において同署長から感謝状が贈呈されました。

## 体験子どもフェスティバル（キッズお仕事体験）



8月20日、21日の両日に、糸満漁港北地区において、糸満市観光協会主催による「第5回体験子どもフェスティバル（キッズお仕事体験）」が開催されました。地域が一体となったこのイベントは、子供達が様々な職業を疑似体験し働く事により、「給料(キッズ通貨)」をもらい、欲しい商品と交換をしたり、サービスを受けるなど、リアルな経済活動を通して社会を学んでもらうという趣旨で開催を始め、今年で5回目となりました。併せて、将来自分が就きたい職業への夢や希望を抱くとともに、日頃、一生懸命働くお父さん、お母さんの仕事への理解を深め、感謝の気持ちを芽生え育てるという目的も兼ねているので、毎年大好評のイベントとなり定着しつつあります。

当日は、「第28回糸満ふるさと祭り」、「第22回南部豊かな海づくり」及び「沖縄爬龍船フェスティバル2016」との合同開催ということもあり、会場には多数の来場者が訪れました。

自衛隊からは、「自衛隊のお仕事」と題して、自衛隊沖縄地方協力本部が、熊本震災のパネル展示・説明、制服の試着コーナーを実施し、陸上自衛隊第51普通科連隊と連携し、軽装甲機動車展示しながら、制服を試着した子供達が軽装甲機動車をバックに記念撮影をする家族連れが多く見られました。また、自衛隊沖縄地方協力本部のキャラクター「くくる君」も登場し、「くくる君」と記念撮影をする家族連れも多く見られました。イベントの最初には、航空自衛隊南西航空音楽隊が子供に見合った楽しい楽曲を演奏すると、子供達は音楽に合わせて体を踊らせていました。イベントに参加した子供達からは「自衛隊さんのカッコいい服を着る事ができてよかった。」「これからもお仕事頑張ってください。」「などとの声をいただきました。

## キャンプ・ハンセンフェスティバル開催

### 【キャンプ・ハンセン 基地渉外官 嘉陽貴幸】

今年で22回目を迎えるキャンプ・ハンセンフェスティバルは、例年9月頃行われ、土日の2日間で1万5千人以上の来場者数を誇る大きなイベントです。フェスティバル会場には国際色豊かな食べ物の出店や子供達に大人気のミニ遊園地を目当てに、軍関係者や地元沖縄の方々だけではなく県内を訪れている観光客も多く訪れます。

フェスティバルにはキャンプ・ハンセンが普段お世話になっている町村長の皆様や各種行政の方達をご招待し懇親の場を持ちます。今年の中嶋局長がご臨席くださり、キャンプ・ハンセンのハウレット司令官との親交を深めました。



フェスティバルの様子



親交を深めたハウレット司令官と中嶋局長

## 辺野古区とキャンプ・シュワブによる親善委員会定例会議開催



親善委員会定例会議の様子(写真提供:在日米海兵隊)

9月1日、名護市辺野古区とキャンプ・シュワブのそれぞれの代表者ら約30人が辺野古区公民館に集まり、親善委員会定例会議が行われました。この会議は、地元の友好関係の発展について意見交換するもので、1960年から続いているものです。会議の中で嘉陽辺野古区長は、「親密な関係を保つことが事件事故を未然に防ぐ」と話されました。また、定例会議後は、辺野古区主催により、6月16日に着任したノートン司令官と転任されるキング副官の歓送迎会が行われ、嘉陽区長から、8年もの間、数多くのイベントを企画・開催するなど地域交流に尽力したキング副官に感謝状が手渡されました。



ノートン司令官とキング副官を囲み参加者で記念撮影

## 園児とキャンプ・シュワブ隊員が「外国人とあそぼう」で交流

9月23日、名護市東江区の「あすなる東認定こども園」で園児とキャンプ・シュワブ隊員の交流会が開催されました。この交流会は、毎月行われているもので、当日は、隊員及び隊員の家族15名がこども園を訪れ、園児たちとの間で交流が行われました。今回はこども園が企画した「ミュージック チェア」(イス取りゲーム)が行われ、減っていく椅子を取り合い、終始、園児の元気な姿に圧倒されながらも、隊員たちは笑顔で楽しんでいました。保育士の仲村先生は、「園児には、言葉の壁はなく、私達大人の方がドキドキです」と話されました。最後は、全員でハイタッチを行い、盛り上りのなか交流会は終了しました。



園児とふれあうキャンプ・シュワブ隊員



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。  
 連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局総務部報道室  
 メールアドレス：houdou@okinawa.rdb.mod.go.jp